

令和元年度がん対策の主な取組状況

1 がんの予防

- がんの予防に向け、県民に対する正しい知識の普及啓発を進めるとともに、たばこ対策においては、健康増進法の改正に伴う新たな受動喫煙対策のほか市町村や関係機関との連携による、喫煙環境の変化の機会をとらえた各種禁煙促進の取組を実施
- がんの早期発見に向け、がん検診の受診率向上を図るため、県民に対する普及啓発（受診勧奨）や受診環境の整備など、市町村や関係機関との連携により各種取組を引き続き実施
- 「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト協定」締結企業等と協働し、がん検診受診率の向上に向けた取組を実施

1 がんの1次予防

- ・ 岩手県がん対策推進条例等に基づき、様々な取組を活用して、広く県民にがんの予防や早期発見について情報発信
- ・ 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の取組として、各種媒体を活用した禁煙の呼びかけや、全県における啓発ポスターの掲示等を実施するとともに、禁煙・分煙の飲食店・喫茶店登録への感謝状の贈呈などの取組を実施
- ・ 公益財団法人岩手県予防医学協会と連携し、事業の従事者に対して講習会を開催し、当該従事者の質の向上を図った。また、禁煙希望者に対する面談、禁煙補助剤の配付など、禁煙支援を推進
- ・ 望まない受動喫煙を防止するため、改正健康増進法の全面施行（2020年4月）に向けた受動喫煙防止措置の周知徹底、指導等（施設の管理者等に対する説明会等）
- ・ 市町村・学校・企業等における禁煙・防煙リーダー研修会の開催、禁煙支援マスター（保健所長）等による禁煙・防煙教室の開催及び地域における喫煙ストップキャンペーンの実施
- ・ 協会けんぽ岩手支部と連携し、たばこ対策などの分野において、全県的な普及啓発活動を実施

普及啓発の内容	配布・掲示先（か所数）
「協会けんぽ岩手支部チラシ」を活用した情報発信	支部の全加入企業（17,000企業）
禁煙を呼びかける「脳卒中予防ポスター」等の共同掲示 （喫煙の習慣は、脳卒中の主要因であること）	県内の健康保険委員登録事業所（1,800企業） 県内の医療機関・調剤薬局（2,300機関） 県内全市町村、県庁・県保健所

2 がんの2次予防（がんの早期発見、がん検診）

- ・ 「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト協定」締結企業等と協働し、がん検診受診率の向上に向け、受診勧奨リーフレット等を作成し全県に配布
- ・ いわてピンクリボンの会と連携し、10月のピンクリボン運動月間に、乳がん検診受診勧奨ポスターの掲示や、各合同庁舎等におけるピンクリボンツリーの設置など、全県で普及啓発を実施
- ・ 受診率の向上に向けた受診勧奨等フォローアップ事業の実施
- ・ 岩手県生活習慣病健診等管理指導協議会の各部会（胃がん・子宮がん・肺がん・乳がん・大腸がん）において、市町村が実施するがん検診の実施方法や、受診率、精密検査受診率等の状況について分析・評価、改善に向けた指導を実施

【各団体等の取組】

○岩手県対がん協会

- ① 県内市町村・事業所を対象としたがん検診の実施
実施数

種 別	胃がん	子宮頸がん	肺がん	乳がん	大腸がん
実施数	88,534	39,423	13,572	35,100	96,330

- ②がんに関する普及啓発活動

- ・ がん征圧月間（9月）時に新聞・ポスター等によるPR
- ・ 他団体イベントへの協賛（ピンクリボンフェスタ等）、テレビ・ラジオCM等
- ・ パンフレット・リーフレット配布、教材の貸出し
- ・ 市町村等の健康イベントへ参加しての普及啓発
- ・ 講演会等（1回）
- ・ 小中高校生を対象に健康教育を行う出前授業（11校）

- ③がん検診の精度管理

- ・ 読影医師や技師等を対象とした症例検討会の開催
- ・ 精密検査受診状況の調査

- ④保健活動

- ・ 乳がん自己触診法教室の開催（4回）
- ・ がん予防電話相談（55回）
- ・ 特定保健指導

- ⑤調査研究

- ・ 事業年報の作成・配布

- ⑥医療技術者の育成・援助

- ・ 修学資金の貸与（4名）

○岩手県医師会

- ・ 岩手県生活習慣病検診等管理指導協議会（胃がん・子宮がん・肺がん・乳がん・大腸がん）に参画し、更なる受診率向上の方策を検討
- ・ 「健康増進法の一部を改正する法律」施行に伴い、病院・診療所は、原則敷地内禁煙となることから、県が作成した「受動喫煙の健康影響等リーフレット」を病院・診療所に送付し、受動喫煙防止を推進

○岩手県看護協会

- ・ 健康いわて21プランの推進
- ・ 世界禁煙デーの取組ポスター掲示、禁煙の推進
- ・ 受動喫煙防止対策の啓蒙活動
- ・ いわてピンクリボンの会と連携した取組推進

○岩手県薬剤師会

- ・ 小中高校生等を対象とした、禁煙教育（薬物乱用防止教育の一環）の実施
- ・ 盛岡市保健所との共催による「禁煙チャレンジ事業」の実施
- ・ 世界禁煙デーポスターの掲出

○全国健康保険協会岩手支部

- ・ 生活習慣病予防検診におけるがん検診の実施、特定健診とがん検診の同時受診促進の取組
- ・ 健康保健委員向け広報誌「ハピネス」に、がん検診や喫煙に関する記事を掲載
- ・ 健康づくりを目的としたセミナーで、「禁煙」に関する講話
- ・ 各種研修会にて、生活習慣病予防検診におけるがん検診の重要性を説明

○岩手銀行

- ・ 定期健康診断、胃がん検診、大腸がん検診の実施、35 歳以上の希望者に対する人間ドックの費用補助
- ・ 二次検診の受診勧奨及び受診確認
- ・ 岩手健康保持増進等推進協議会の一員として、がん対策を含む健康分野と安全衛生に係る啓発の取組に参画
- ・ 日本対がん協会主催「リレーウォーク 2019 きたかみ」への後援
- ・ 「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト」に参画し、がん検診や早期発見を呼びかけるリーフレットを作成し店頭に配置

2 がん医療の充実

- 国の整備指針の見直しの内容を踏まえたがん診療連携拠点病院の体制確保
(新たな国の整備指針に適合したがん診療連携拠点病院等の維持確保)
- 拠点病院の機能強化を引き続き支援するとともに、がん患者・経験者の就労支援やがん教育などに取り組む病院へ支援
- 「がんゲノム医療拠点病院」や「小児がん拠点病院」と県内拠点病院との連携の促進
- がん医療に係る専門的知識を有する医療従事者育成の取組を継続実施
- 小児・AYA世代、高齢のがん患者に関する施策の情報収集等を実施、地域における在宅医療や医科歯科連携などの取組を促進
- がん登録等の推進に関する法律に基づく登録制度の周知及び円滑な登録を支援
- これまでの地域がん登録事業により得られたデータの積極的な利活用の実施

1 医療機関の整備と医療連携体制の構築

- ・ 県内 10 か所のがん診療連携拠点病院の専門的な医療提供や相談支援の機能強化を図るため、医療従事者等の資質向上や相談支援センター相談員の配置等を促進するとともに、がん患者・経験者の就労支援やがん教育などの取組を行う病院への支援を引き続き実施
- ・ がん診療連携拠点病院の指定更新を支援（令和 2 年 4 月更新：県立中央病院、県立中部病院、県立大船渡病院、県立釜石病院、県立宮古病院、県立久慈病院、県立二戸病院）
- ・ がんゲノム医療中核拠点病院（東北大学病院）と、がんゲノム医療連携病院（岩手医大附属病院）等との連携促進
- ・ 地域の拠点病院と地域の医療機関、歯科医療機関等との連携、在宅医療等の取組を促進

2 がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成及び確保

- ・ 全てのがん診療に従事する医師・歯科医師が緩和ケアの基本的知識・技術を習得するための研修を、拠点病院等において引き続き実施
- ・ 認定看護師の育成事業など、がん医療に係る専門的知識を有する医療従事者の育成

3 小児・AYA世代のがん、高齢者のがん

- ・ 東北ブロック小児がん医療提供体制協議会への参画による、小児がんの医療や患者支援に係る実態把握や情報収集
- ・ 小児がん拠点病院（東北大学病院）と、小児がん連携病院（岩手医大附属病院、県立中部病院）等との連携促進
- ・ 国立がん研究センター（がん情報サービス）や小児がん拠点病院等が提供する関連情報の発信

4 がん登録

- ・ がん登録等の推進に関する法律の施行に伴い、病院及び診療所等に対して登録制度の周知を図るとともに、県医師会等関係機関と連携し、円滑な登録を支援
- ・ これまでの地域がん登録事業により得られた貴重なデータについて、県民に対する普及啓発等において積極的な利活用を実施
(「検診群」と「外来群」の 5 年生存率の比較データなどを用いた、県民に対する受診勧奨など)
- ・ 院内がん登録及び全国がん登録への積極的な取組、登録数増加、精度向上

【各団体等の取組】

○ 岩手医科大学

- ・ がんセンターセミナーの開催（5月・6月）
- ・ 緩和ケア病棟研修会および開設記念講演会の開催（11月・12月）
- ・ がん化学療法スキルアップセミナー（11月）
- ・ 岩手県がんフォーラムの開催（11月）
- ・ 岩手県薬薬連携セミナー（12月）
- ・ 岩手緩和ケア・テレカンファレンスの開催（年10回）
- ・ キャンサーボードミーティングの開催（年9回）
- ・ 骨転移カンファレンスの開催（年4回）
- ・ 病理診断セミナーの開催（年4回）
- ・ 緩和ケアセンターの運営（緩和ケアチーム、緩和ケアリンクナースなど）
- ・ がん相談支援センターの運営（がん相談、就労相談など）
- ・ がんゲノム室の運営（がん遺伝子パネル検査の実施など）

○ 岩手県医師会

- ・ 県事業として、岩手医大や県立病院の関係者と運営委員会を組織し、連携を取りながらがん登録を推進
- ・ 県内で発生した全てのがん患者及び疑い患者の情報について、入力・照会・集計・分析等を行い、医療機関に予防の推進のもととなるデータを蓄積
- ・ がん登録等の推進に関する法律が施行されたことから、医療機関に対しがん登録制度の周知を図り、円滑な登録を実施

○ 岩手県歯科医師会

- ・ がん診療医科歯科連携協議会（10月）
- ・ がん診療医科歯科連携協議会運営委員会（9月）
- ・ 病院から歯科医院への診療紹介状況等の調査実施
- ・ 医科歯科連携モデル事業の実施（研修会開催：久慈・遠野・二戸、地域医療支援病院等への歯科医師・歯科衛生士の派遣、血糖値測定事業等）
- ・ 情報誌「いとしの架け橋」発行

○ 岩手県看護協会

- ・ 県が委託する中堅看護職員実務研修「がん看護」実施による、がん医療に携わる看護師の育成（国のがん対策の動向、県がん条例に係る資料を提示し講義を実施）
- ・ 岩手医大附属病院高度看護研修センターの緩和ケア認定看護師育成支援
- ・ 認定看護師の資格取得支援
- ・ 関係団体が実施するがん対策事業の後援

○ 岩手ホスピスの会

- ・ 終末期医療、在宅医療がテーマの映画「四万十〜いのちの仕舞い」上映会開催（2月）

3 がんと共生

- 拠点病院等が実施する緩和ケア研修について、引き続き研修会の開催支援、同研修会に係る指導者・ファシリテーター向け研修を実施
- 拠点病院の相談支援センター相談員の配置・育成やがんサロン運営に対し支援
- 拠点病院等間の情報ネットワークを活用した診断・診療支援、TV会議システムを活用したカンファレンスなどの取組を支援
- 県民や地域の保健医療従事者を対象とする在宅緩和ケア講習会を引き続き実施
- 患者・家族向けサポートブックの作成・配布やホームページの活用等により、患者・家族の療養生活の質の向上に資する情報を発信
- 県施策・事業や研修等への患者や家族の意見反映のため、がん患者・家族会との会議を開催
- がん患者の就労など各種支援について、セミナーを実施するほか、ハローワーク等と連携し拠点病院における取組を推進
- 医療機関、就労支援機関や教育関係者などの連携による相談支援の実施

1 がんと診断された時からの緩和ケアの推進

- ・ がん患者やその家族の不安や疑問に適切に対応するため、拠点病院が行う相談支援センター相談員の配置や育成、がんサロンの運営、普及啓発・情報提供事業の実施などに対する支援を実施
- ・ 専門的な緩和ケアを担う医療従事者を確保するため、拠点病院等が実施する研修会の開催への支援を行ったほか、同研修会の企画運営に当たる指導者やファシリテーターの養成に向け、全国研修への医師派遣や研修会を実施
- ・ 緩和ケアテレカンファレンスの開催（11回）
- ・ 全てのがん診療に従事する医師・歯科医師が緩和ケアの基本的知識・技術を習得するための研修を、拠点病院等において実施
- ・ 緩和ケアに係る理解の促進と地域の医療連携体制の構築に資するため、一般県民や地域の保健医療福祉従事者等を対象とした在宅緩和ケアの講習会を、岩手県医師会への委託により県内3か所で実施

2 相談支援及び情報提供

- ・ がんに関する情報の適切な提供を通じて、がん患者やその家族等の療養生活の質の向上が図られるよう、療養上必要な情報をまとめた患者・家族向け「いわてのがん療養サポートブック」を継続配布

3 地域におけるがん患者支援、患者会等活動の充実

- ・ がん患者の悩みや不安の軽減に資するよう、がん患者・家族会の活動を支援。県ホームページでの活動紹介に加え、県の施策・事業へよりの確に意見を反映するよう、患者・家族会の代表者及び医療従事者との情報交換会を開催
- ・ 医師に対する緩和ケア研修会に患者の視点を取り入れるための、医療従事者と患者会による合同検討会議を開催
- ・ 日本サイコオンコロジー学会との共催により、がんサロンの運営や患者参加等に係る医療従事者間の意見交換会を開催

4 がん患者等の就労を含めた社会的な問題

- ・ がんになっても、就労継続など様々な支援が受けられるよう、県内企業の労務・安全衛生担当者、医療従事者、がん患者や家族等を対象としたセミナーを開催
- ・ 岩手労働局が運営する「地域両立支援推進チーム」、「長期療養者等支援担当者連絡会議」構成機関と連携し、各拠点病院においてがん患者の就労に係る相談支援を実施

【各団体等の取組】

○岩手県薬剤師会

- ・ 薬剤師を対象とした、がん薬物療法、緩和医療に関する研修会の実施

○岩手医科大学

- ・ がんサロンボランティア研修会の開催（11月）
- ・ 岩手県院内がん登録研修会の開催（11月）
- ・ ELNEC-J 看護師教育プログラム（2月）
- ・ リーフレットの作成・配布（がんセンターだより、緩和ケア病棟、がん相談窓口等）
- ・ がん患者・家族サロンの運営（がん相談・傾聴・情報提供など）
- ・ ホームページの公開（がんセンター、がん患者・家族サロンなど）

○県立中部病院

- ・ 市民ボランティアによるがんピアサポート活動（月4回）
- ・ ピアサポーター養成講座の開催支援
- ・ 市民ボランティア（薬剤師・看護師）による相談（週1回）

○岩手ホスピスの会

- ① 岩手医大緩和ケア研修会での講演（6月：岩手医大循環器医療センター）
内容：会から2名が参加し、「岩手における患者さんの声」として、夫を看取った体験、友人ががんの痛みに苦しんだ体験を患者の立場から医療者に語った。
- ② 緩和ケアセミナーの開催（会主催 7月：盛岡市総合福祉センター）
内容：「苦痛の軽減を目指して」～気仙地区での取り組み～と題して岩手県立大船渡病院緩和医療科長・村上雅彦先生が講演。
- ③ 胆江地区緩和ケア研修会での講演（10月：県立胆沢病院）
内容：参加した12名の医療者に、医療用麻薬を適切に使って患者の痛みをとってほしい、医療者に遠慮する患者の心理を理解してほしい、たった一人で病と向き合っている患者の心に思いに寄り添ってほしい等を要望
- ④ 盛南地区緩和ケア研修会での講演（11月：盛岡赤十字病院）
内容：会から2名が参加し、患者の立場から“少しでも患者の心に寄り添いがんの痛みをとって欲しい”と訴えた。
- ⑤ ホスピスボランティア活動（会主催 11月：盛岡友愛病院）
内容：会から11名参加して出前コーラスを開催し、童謡や唱歌、歌謡曲など懐かしい曲を披露。
- ⑥ 全国のがん診療連携拠点病院のがん患者にタオル帽子をプレゼント（6月・12月）

- ⑦ 学校（盛岡二高）、病院（県立胆沢病院）でのタオル帽子作成講習会開催（９・１０月）
- ⑧ がん患者さんのための栄養講座開催（会主催 ９月：盛岡市総合福祉センター）
内容：県立胆沢病院栄養サポートチーム専従管理栄養士・がん病態栄養専門管理栄養士の蛇口真理子氏を講師として、がん治療中の食事のポイント等について講演。
- ⑨ がん相談ホットライン活動（会場担当者による、がんなんでも電話相談）

2019 年度電話相談利用者数（単位：件）

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
6	22	4	5	6	5	12	11	19	10	13	9	122

- ⑩ 岩手県内各ホスピスの定期的な現状調査と発信

○盛岡かたくりの会

- リンパ浮腫サロンの開催（リンパ浮腫に関する基礎知識の講演及び実技指導。遠野（９月）、釜石（１０月）、一関（１１月）で開催）

○ペイシェント アクティブ ビワの会

- がん患者の語らいの場「びわカフェ」の開催（月１回）
- 「患者の学校」の開催（１１月）
- 里山散策会（がん患者・家族・医療者などの交流の場）
- 会報の発行（年３回）
- ピアサポーター活動（週１回 中部病院がん情報サロン「虹」）

○奥州かたくりの会

- 語り合いの会開催（毎月第３日曜。３月は中止）
- 盛岡かたくりの会のリンパ浮腫勉強会への支援（１１月）

○岩手労働局

- 両立支援ガイドラインの周知啓発、助成金制度の周知、企業の意識改革及び支援体制の整備
- 岩手県産業保健総合支援センター等の各種サービスの周知、利用促進
- 岩手県地域両立支援推進チームによる関係者の連携、両立支援の取組促進
- 「障害・治療と仕事の両立支援助成コース」の周知、利用勧奨

○盛岡公共職業安定所（ハローワーク盛岡）

- 長期療養者支援専門の就職支援ナビゲーターを所内に１名配置（平成28年度から実施している長期療養者就職支援事業に伴うもの）
- 岩手医科大学付属病院と連携し、定期出張相談を実施（毎週水曜日の午後１～４時）
- 令和元年８月１日より岩手県立中央病院と協定を締結し、定期出張相談の実施に向けて調整
- 令和元年度長期療養者就職支援事業実施状況

	プレ相談件数	新規対象者数	相談件数	紹介件数	就職件数
R1年度	65	63	615	94	36
H30年度	67	62	675	123	49

- 求人事業所に対し、リーフレット「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」を活用し、治療と仕事の両立支援に対する理解促進及び啓発を実施

4 がん対策の取組を支える基盤づくり

- 新学習指導要領に対応した学校におけるがん教育の展開
- がんの予防に向け、県民に対する正しい知識、がん検診の受診勧奨などの普及啓発を引き続き実施
- 患者・家族向けサポートブックの増刷・配布やホームページの充実などにより、患者・家族の療養生活の質の向上に資する情報の発信を強化

1 がん教育

- ・ 新学習指導要領に対応したがん教育の推進。
- ・ がん教育の体制づくりと保健教育の充実を目的とした、有識者及び関係機関代表者で構成する協議会の設置・開催（2回）
- ・ がん教育指導者用マニュアル検討委員会の開催（3回）
- ・ 県立学校「がん教育講演会」講師派遣事業の実施（高等学校13校、特別支援学校1校）
- ・ 教職員及び外部講師のがん教育資質向上を目的とした研修会の開催（1回）
- ・ がん・生活習慣病を含む健康教育を一層推進するため、岩手県対がん協会が実施する学校への出前講座の支援
- ・ 小学生向けのがんに関する啓発リーフレットを作成し、小学生6学年の児童全員に配布

2 がんに関する知識の普及啓発

- ・ がんに関する情報の適切な提供を通じて、がん患者やその家族等の療養生活の質の向上が図られるよう、療養上必要な情報をまとめた患者・家族向けのサポートブックを引き続き配布するほか、県ホームページの内容を随時更新
- ・ 国立がんセンターが提供（がん情報サービス）するがん関連情報の発信

3 県民の参画や取組の促進

- ・ 「県民みんなで支える地域医療推進会議」の運営等
- ・ 保健医療従事者、患者団体、報道機関等と連携した県民向けの普及啓発イベントの継続実施
- ・ 自らの健康づくり等に関する県民への啓発
- ・ 関係団体等が行う普及啓発活動への後援

【各団体等の取組】

○岩手医科大学

- ・ 高校生キャンサーセミナー開催（2月）
- ・ 「がんの教育講演会」への講師派遣（年4回）
- ・ がん予防啓発キャンペーン（新聞協賛）など